

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名		地域医療を考えるための医療連携強化事業		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系				根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	未定
(小項目)		保健・医療				
施策	7	健康・医療対策の推進				
基本事業	4	医療の充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民、医療機関等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	医療は限りある資源であることを市民が認識し、健康づくりの推進と、地域医療を守り育むために市民や医療機関、市がしなければならないことを認識することができる。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	条例策定審議会の開催、ワークショップの実施等により、条例の策定をめざす。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		連携事業の参加者数	250	200	150	150	150	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成28年度は条例策定審議회를4回開催し、パブリックコメントを実施したのち条例を策定した。 徳島県鳴門病院との連携事業については、市民向け実践講座を継続して実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民向け実践講座	1	1	1	1	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	連携事業の参加者数		100	120	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)			60.0	-	-	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	479	479
		補正予算額	0	0	0	0	85	85
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	564	564
		決算額	0	0	0	0	478	478
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		0.4	0.0		2,853		3,331	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：地域医療を考えるための医療連携強化事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	227	478	812	812	812
	うち一般財源	227	478	812	812	812
	人件費	2,744	2,853	2,853	2,853	2,853
	総事業費	2,971	3,331	3,665	3,665	3,665

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	鳴門病院を市民に知っていただくという目標においては有効な方法だと考える。
	効率性	A:効率的だった	継続して実施していることから、準備等については短時間かつ少人数で対応ができています。
②成果に対する評価	指標名	連携事業の参加者数	
	目標	200	人
	実績	120	人
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	
③総合的な評価		B	地域支援病院である徳島県鳴門病院の現状等について市民に啓発をしていくことは、地域医療を守るためには重要であり、「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」の啓発とあわせて、引き続き連携して事業に取り組むことは有効である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」については、目的や内容、市民・医療機関・市がはたすべきそれぞれの役割等について、あらゆる機会を捉えて幅広く市民への啓発活動を行っていくとともに、その推進のために体制を整える必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	条例の周知に向けては、シンポジウムの開催や条例の概要版を作成し、各地区組織での説明に加えPTAや子育て世代等への周知啓発を行い、条例推進のための協議会を設置する。鳴門病院との連携事業(市民向け実践講座)については継続して実施する。			
	H30年度	平成29年度に引き続き、市民に積極的に周知啓発を図る。			